

# はやかわ



## 力を合わせ わらべどんぐりまつり

10月22日、北小学校においてわらべどんぐりまつりが行われました。あいにくの雨で交流会や体育発表などができませんでしたが、伝統の民話劇や奈良田の白樺会と一緒に民話を歌ったりと、取り組んできた成果を、保護者や地域の方の前で一生懸命披露しました。



the most beautiful  
villages  
in japan

早川町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

# 町制施行五十五周年記念式典式辞(要約)

町長 辻 一 幸

本町は、昭和三十一年九月三十日、南アルプスを源流とする早川流域六ヶ村、面積三六九・九六平方メートル、三七集落、人口八、一一六人をもって、県下大きな面積を有する自治体として昭和の合併法に基づき新町として誕生いたしました。先の平成の合併も町民の総意で単独を決定し、以来今日までここに五十五年の歩みをいたしました。

半世紀以上に及ぶ歩みを振り返って見ますと、昭和三十年代は、国中が夢と期待に満ちた時代でありました。わが町の誕生も、新しい町づくりへの決意と地域の新時代に夢をさせて船出したことが想像されます。

がしかし、今日までの本町の歩んだ現実、決して平坦ではありませんでした。林業の衰退、水力発電所の自動無人化、それによる人口は、昭和三十五年国勢調査をピークに激減の一途を辿りました。また、合わせて思い起こすと、二度の三十四年災害、町中が壊滅的に襲われた五十七年災害など、忘れることもできない厳しい現実にも直面し、このたびの十二号、十五号災害においても同様であります。町民はいつも厳しくも前向きに努力を重ねて一致団結をし、難局を乗り越えて今日を迎えることができたことを誇りに思います。

議長 長 望 月 久 弘

# 町制施行五十五周年記念式典挨拶(要約)

これまで町は、潤いと活力のある町づくり計画で、個性と歴史と文化を重視した旧村一拠点作りに始まり、高齢化の中の福祉医療の充実、町民の健康づくり、教育振興のための環境整備、大自然を背景とした積極的な都市との交流事業の推進、住民が安心して安全に暮らせる防災体制の強化などを厳しい財政下で果敢に推し進めてまいりました。

時代は二十一世紀に入り、私たちは早川町の自然の尊さや価値、山村の暮らしや豊かさづくりを求めて「上流文化圏構想」を今町づくりの基本理念とし、新時代の豊かな郷土づくりに邁進を始めています。間違いなくその手応えを感じます。

時代は、東北大震災と原子力発電の安全神話の崩壊により、わが国の転換と変化は当然の理となりました。新しい時代の要請の中で、私たちの早川町は、これからどのような町を目指し、いかに再び活力を取り戻すか、町民の熱いふるさと思える信念や豊かな大自然を力に、あらゆる可能性に向かっていく機会が到来したと考えます。

今、町と町民は、ここに町制制定半世紀以上を送り、次なる百年に向かって、新たな町づくりへの積極的な挑戦と前進を誓い合いたいと思います。

昭和三十一年に早川流域の六ヶ村が合併し、人口八千六百六十六人、千五百八十八世帯、面積三六九・八平方キロメートルと県下一広い面積を有する早川町が誕生しました。この年には、奈良田集落までバスが開通し、翌年度には西山発電所が竣工するなど、町内に活気が出てきた時でもありません。高度経済成長の時代であり、町内各所で水力発電所の建設が始まり、昭和三十五年には、人口も一万人を超え、希望に満ちた時代だったように思われます。この早川町誕生のため、関係各位の並々ならぬご努力に、深く頭が下がる思いです。

この五十五年を振り返りますと、昭和三十四年の台風七号・十五号は、死者行方不明者三名、負傷者十名、家屋の全壊や流出等が百件。また奈良田湖が埋まるという稀にみる大災害でした。昭和五十七年の台風十号では、人的被害こそ無かったものの、河川の氾濫等により、いたる所で道路が寸断され、陸の孤島と報道されました。

これらの災害を乗り越えられたのも、復興に取り組んだ町民の皆さんの努力はもちろん、関係機関各位のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

近年では、昨年の県道雨畑大島線、南アルプス公園線の法面崩落により、長期間にわたり通行止めを余儀なくされ、観光シーズンを重なり、大打撃を受けました。本年三月十一日には、日本観測史上最大のマグニチュード九・〇という東日本大震災

が発生し、津波等により、東北地方に壊滅的な被害をもたらしました。福島第一原子力発電所の事故では、放射能汚染等により、現在も多大な被害を及ぼしています。町内では、九月に発生した台風十二号、十五号により、様々な被害に遭い、町民の皆さんにご不便をおかけしておりますが、関係機関と連携を図り一日も早く復興するよう議会と行政が一体となって取り組んでまいります。

このような経過の中、早川町でも旧村一拠点づくりや生活道路の整備、教育施設の充実等、町民に誇りが持てる町づくりを進めてまいりましたが、高度経済成長の中、町からの人口流出が続く、過疎化になってきたことは大きな時代の変貌でもありました。また、長引く景気の低迷により、国や地方を問わず厳しい財政事情となり、国の行政改革として、平成の大合併が進められてまいりましたが、早川町は、アンケート調査の結果、合併はしないとの結論に至りました。広大な面積を持つ小さい町が合併したら、これまでの住民サービスを維持していけるのかという不安でした。

早川町は現在も過疎化が続き、様々な課題が残されておりますが、新長期総合計画を着実に実行し、町に住んでいる一人ひとりが幸せに思えるような町づくりに取り組んでいくことに、議会として町民の皆様のご意見を町政に反映させ、更なる発展のために鋭意努力してまいります。



▲ 町制施行55周年を祝い万歳三唱



▲ 町長式辞

# 町制施行55周年記念式典

9月29日・町民会館



▲ 被表彰者謝辞



## 感謝状並びに表彰状贈呈者

### 感謝状贈呈者 (敬称略・順不同)

#### ◆ 町政功労者

元 教 育 長	天 野	元 老 平
元 教 育 長	望 月 正 巳	高 住
元 教 育 長	深 沢 一 比 兒	上 湯 島
前 教 育 長	望 月 公 八	小 繩
元 教 育 委 員 長	川 口 仁	新 倉
前 教 育 委 員 長	望 月 和 男	赤 沢
元 教 育 委 員	根 岸 昭 夫	下 湯 島
前 体 育 指 導 委 員	望 月 英 治	やませみ
前 農 業 委 員	望 月 明 晴	久 田 子
前 農 業 委 員	早 川 俊 英	早 川
前 農 業 委 員	倉 本 房 男	茂 倉
前 農 業 委 員	望 月 信 保	古 屋
日 本 上 流 文 化 圏 研 究 所 事 務 局 長	大 倉 はるみ	身 延 町

### 特別感謝状贈呈者 (敬称略・順不同)

日 本 軽 金 属 (株) 蒲 原 製 造 所	静 岡 県
(有) ミー ト ・ 高 橋 高 橋 謙 二	富 土 川 町
文 化 振 興 諷 訪 恭 一	南 部 町
文 化 振 興 藤 間 羊 素 娥	身 延 町
文 化 振 興 藤 田 春 海	埼 玉 県



### 表彰状贈呈者 (敬称略・順不同)

#### ◆ 町職員勤続35年以上

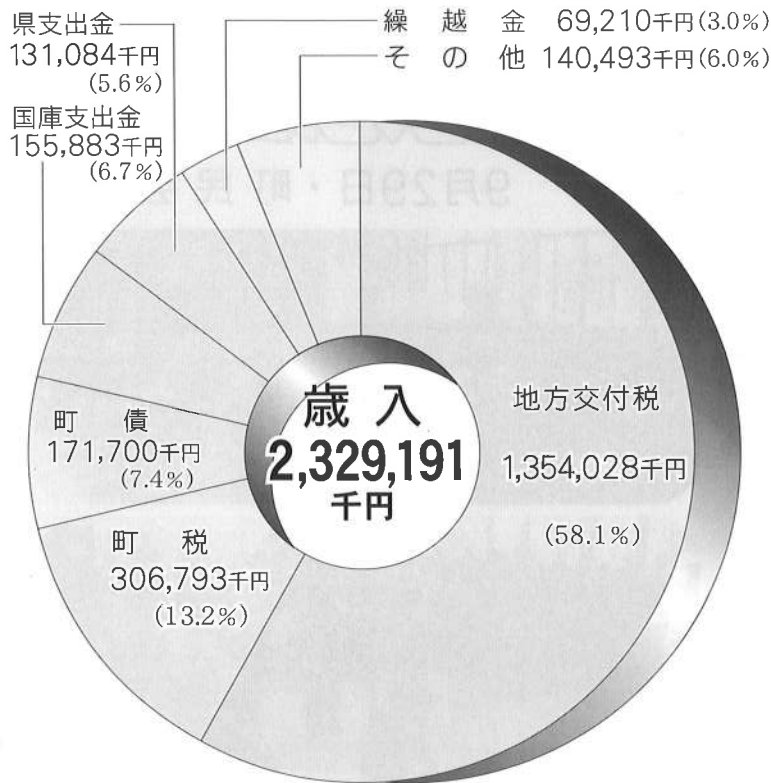
退 職 者	川 口 長 久 新 倉
	辻 義 行 新 倉
	望 月 季 美 草 塩
	望 月 つ や 子 高 住
	佐 野 正 昭 葉 袋
	望 月 真 樹 新 倉

#### ◆ 町職員勤続20年以上

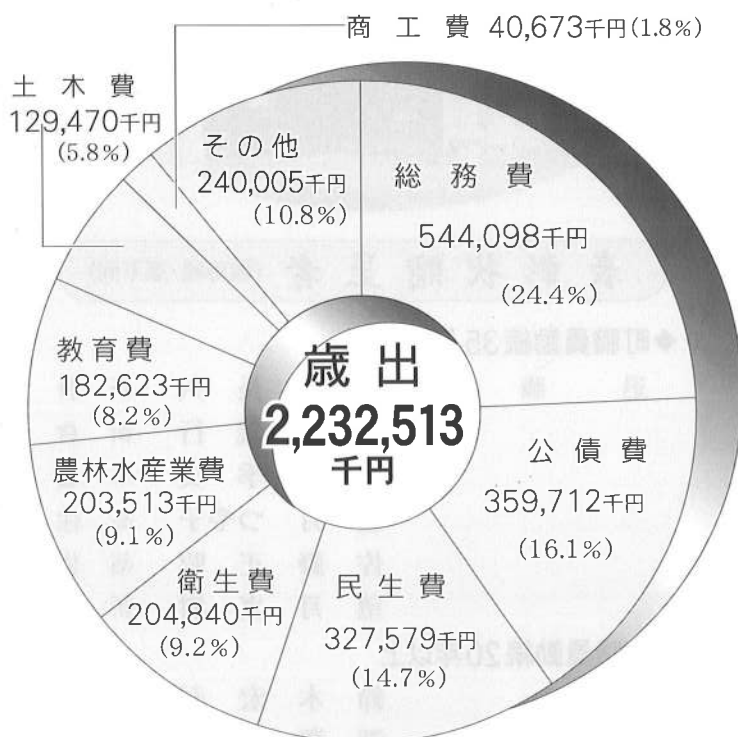
鈴 木 宏 記 馬 場
深 澤 治 人 やませみ

# 51万3千円はこう使われました

## 一般会計歳入のうちわけ



## 一般会計歳出のうちわけ



\*\*\*\*\*

平成二十二年年度の一般会計と特別会計の決算が、九月定例議会で承認されました。

一般会計は、歳入総額が二十三億二千九百十九万千円（前年比八・八割の減）、歳出総額二十二億三千二百五十一万三千円（前年比十・二割の減）の決算となりました。

また、国民健康保険などの特別会計は、総額で、歳入が五億七千八百六十二万三千円（前年比十六・八割の減）、歳出が五億三千六百六十万円（前年比十九・四割の減）となりました。

平成二十二年度も経費の節減を図り、健全な財政運営に努めてまいりました。

\*\*\*\*\*

## 町税のうちわけ

税目	収入済額
町民税	50,614千円
固定資産税	243,944千円
軽自動車税	3,740千円
町たばこ税	2,805千円
入湯税	5,690千円
合計	306,793千円



## 町の財政健全化判断比率等を公表します

地方公共団体の財政健全化を目的とした「地方公共団体の財政健全化に関する法律」が平成19年6月に公布されました。この法律により、町では財政の健全化を判断するための4つの指標の算定と、その結果を町民の皆さんに公表することが義務付けられ、また、健全化のための是正措置が必要となる基準が示され、その基準を超えた地方公共団体は健全化計画の策定が義務付けられました。

早川町の指標は、国が定める基準を下回っているため、財政状況は健全に運営されているものと判断されます。

### ■健全化判断比率

	町の健全化比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—(※)	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—(※)	20.00%	35.00%
実質公債費比率	8.0%	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	—(※)	350.0 %	

### ■資金不足比率

特別会計名	町の資金不足比率	経営健全化基準
早川町簡易水道事業特別会計	—(※)	20.0%
早川町特定環境保全公共下水道特別会計	—(※)	
早川町農業集落排水事業特別会計	—(※)	
早川町温泉事業特別会計	—(※)	

※実質赤字、連結実質赤字及び資金比率は赤字額がないため、また、将来負担額がないため「—」(該当なし)で表記しています。

## 【用語説明】

#### ■実質赤字比率

地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

#### ■連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。

#### ■実質公債費比率

借金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

#### ■将来負担比率

地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

#### ■資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

# 22億3,2

## 平成22年度 決算報告

### ◆特別会計◆

- 国民健康保険
  - 歳入 220,584千円
  - 歳出 189,986千円
- 老人保健
  - 歳入 923千円
  - 歳出 923千円
- 簡易水道事業
  - 歳入 58,904千円
  - 歳出 57,665千円
- 特定環境保全公共下水道事業
  - 歳入 8,811千円
  - 歳出 8,730千円
- 農業集落排水事業
  - 歳入 3,293千円
  - 歳出 3,187千円
- 奨学金
  - 歳入 1,048千円
  - 歳出 904千円
- 千須和地区住宅地造成事業
  - 歳入 2,734千円
  - 歳出 2,733千円
- 介護保険
  - 歳入 224,173千円
  - 歳出 219,148千円
- 居宅介護支援事業
  - 歳入 24,623千円
  - 歳出 22,823千円
- 後期高齢者医療
  - 歳入 24,599千円
  - 歳出 24,362千円
- 温泉事業
  - 歳入 3,570千円
  - 歳出 1,030千円
- 恩賜林保護財産区管理会
  - 大平外2山
    - 歳入 62千円
    - 歳出 54千円
  - 吉水外13山
    - 歳入 1,890千円
    - 歳出 1,822千円
  - 生木割外2山
    - 歳入 407千円
    - 歳出 343千円
  - 白屋外1山
    - 歳入 192千円
    - 歳出 153千円
  - 農鳥山外25山
    - 歳入 2,810千円
    - 歳出 2,737千円